

A1102 EF53-15 後期型 高崎機関区

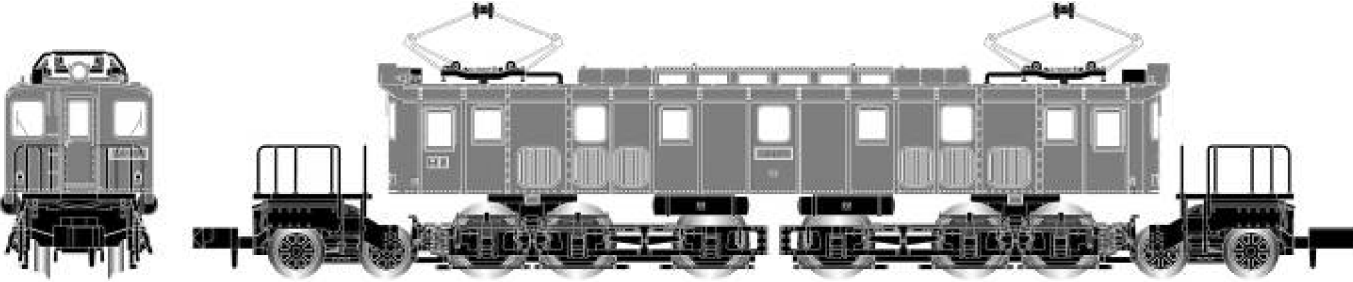
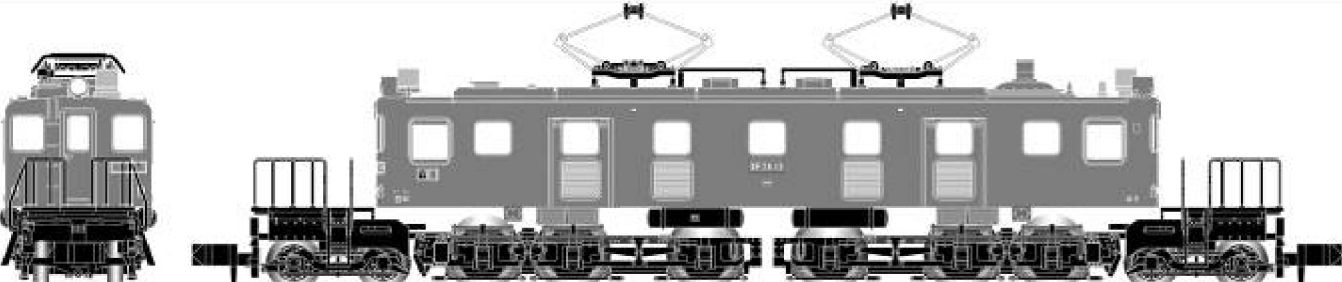
予価 : 7,800円 (税別)

JANコード: 099209 カート内入数 24

A1404 EF56-12 後期型 宇都宮機関区

予価 : 7,800円 (税別)

JANコード: 099322 カート内入数 24

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材: ABS樹脂製 対象年齢: 14歳以上 単品プラケース入り)	
実車	<p>EF53は鉄道省が1932昭和7年から製造した旅客用電気機関車です。日本初の大型国産電気機関車となったEF52を改良して誕生し、1934昭和9年までに19両が製造され、丹那トンネル開通後の東海道線で活躍しました。列車暖房用の蒸気発生装置を持たなかったことから戦後はEF58などに活躍の場を譲り、東北本線・高崎線などで活躍しましたが、最終的に全機が山陽本線瀬野～八本松間の補機であるEF59に改造されて活躍しました。</p> <p>EF56は1937昭和12年登場した旅客用電気機関車です。当時の標準型EF53をベースとして列車暖房用の蒸気発生装置を搭載し、冬季の暖房車の連結が不要となりました。1940昭和15年に製造されたグループは車体が角ばっており、当初製造されていたグループとは形態が変化しました。また、1号機は製造途中で設計を変更してEF57-1号機として落成したためにEF56は総勢で12両のグループとなりました。戦後はEF58などの増備に伴って活躍の場を東北本線などへ移し、1975昭和50年までに引退したほか、山陽本線瀬野～八本松間の補機であるEF59に6両が改造されて1987昭和62年まで活躍しました。</p>	
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト点灯 ・黒染め車輪採用 ・特徴ある手摺付のデッキを忠実に再現 	
EF53-15	<p>EF59に改造前の姿 高崎第二機関区所属</p> 	
EF56-12	<p>常磐無線アンテナ装着 角型ボディの後期型</p> 	
オプション	なし	
付属品	なし	